

公共交通の目標および評価指標

資料 1 - 2

課題	方向性	基本目標	施策	現行の施策	現行の目標		
課題 1 持続可能な公共交通としての運行維持	→	・隣接市町への通勤・通学がしやすい公共交通ネットワークの維持 ・市内の病院や公共施設などへのバス路線の維持 ・人口密度の高い住宅地への公共交通カバー圏域の拡大	誰もが快適に利用できる公共交通ネットワークの 形成 	・駅及び駅前広場の整備・バリアフリー化 ①JR高蔵寺駅周辺の再整備 ②名鉄春日井駅のバリアフリー化 ③名鉄春日井駅の駅前広場等整備	鉄道と路線バスによる利便性の高い公共交通網の形成		
課題 2 人口密度の高い住宅地の公共交通カバー圏域の拡大				・路線バスサービスの維持・支援 ①サービス水準の維持・改善 ②小型車両の展開検討 ③鉄道に合わせたダイヤ見直し ④名鉄春日井駅への乗入れ要望		・バス待ち環境の改善	
課題 3 地域に即した移動手段の確保				・かすがいシティバスの効果的な運行 ①ネットワークの再編 ②ダイヤの再編 ③エリアの拡充			
課題 4 2024 問題などによる運転手の確保	→	・地域の実情を踏まえた移動手段の確保 ・バス停環境の整備 ・料金割引制度の周知・拡充	利用者にようそう交通環境の整備 	・かすがいシティバスの再編	多様な交通の組み合わせによる市民の移動手段の確保		
課題 5 公共交通の利用促進				・地域の実情を踏まえた移動手段の導入 ①北部オンデマンドバスの利用促進 ②ラストマイル送迎サービスの推進 ③地域循環バスの利用促進 ④各地域の特性に応じた移動手段の検討 ⑤先進技術を活用した移動手段の調査・研究		・タクシーや民間自主運行事業、福祉施策との連携 ①バス待ち環境の改善 ②商業施設等との連携によるバス待ち環境の充実 ③CEV車両導入の促進	・先進技術の活用による移動手段の確保
課題 6 多様化するライフスタイルへの対応検討				・料金割引制度の拡充 ①料金割引制度の拡充検討 ②先進技術を活用した料金割引制度の確立 ・多様なツールによる運行情報等の周知・改善 ①多様なツールの活用による周知・改善 ②交通手段間のシームレスな乗継ぎの支援		・隣接市との連携	
		・市民への利用促進策の実施 ・市の負担額の低減 ・運転士不足の解消	みんなで支える持続可能な地域交通サービスの 仕組みづくり 	・料金割引制度の拡充・周知 ・交通事業者の運営支援（運転士の確保） ・バスやタクシーの利用意識を醸成させるイベントの実施 ・多様なツールによる運行情報の周知・改善 ・交通手段間のシームレスな乗継ぎの支援 ・地域で公共交通を支える制度・体制づくり	みんなで支える公共交通の体制づくり		

参考評価指標 市全体の公共交通ネットワークを評価するものとして、以下の指標を設定

- ・運輸部門における温室効果ガス排出量 現状：（2022年度）：405.4千 t-CO₂
- ・シティバス及び北部オンデマンドバスの利用者 1人当たりの負担額 現状（2024年度）：644円/人